

本日の P F I 検討委員会の趣旨について

1 本日の P F I 検討委員会における審議内容

(1) 利害関係の確認

前回の委員会開催以降、応募者から申出のあった内容について審議

(2) 実施契約書（案）等の修正

競争的対話を踏まえた各公募書類の改訂内容についての報告及び審議

(3) 第二次審査の進め方

前回の P F I 検討委員会における論点を踏まえて、事務局で検討を進めた事項について審議
（「2 前回の P F I 検討委員会における論点及び対応状況」参照）

2 前回の P F I 検討委員会における論点及び対応状況

(1) 第二次審査のスケジュールについて

各委員への第二次審査書類の送付期日からワーキング・グループ（WG）の開催までの期間が短すぎる。WGの委員が内容を確認する期間をもう少し確保すべき。

【対応状況】

技術のワーキング・グループの開催日時を1週間遅らせることで、内容確認期間を確保。
（第二次審査書類の確認期間：財務・会計WG 15日間、技術WG 18日間） [資料 3-2]

(2) 調査基準額を下回る提案への対応について

調査基準額を下回る提案がある場合、提案された価格の妥当性は、いつ、誰が、どういう形で判断するのか。

【対応状況】

調査基準額を下回る提案がある場合に実施する調査の流れや審査・評価上の取り扱いについて、本日の P F I 検討委員会で説明。[資料 4-1]

(3) 比較資料のまとめ方について

比較資料をどのようにまとめるかによって、ワーキング・グループの進め方も変わってくる。直接コンソーシアム間の比較をしないとしても、相対的な違いを把握する必要がある。

【対応状況】

比較資料のサンプルを作成し、本日の P F I 検討委員会で説明。[資料 4-2]